

東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて ～オリンピックイヤーの取り組み～

いよいよ開催となる東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、スポーツをはじめ、教育・文化・産業等の様々な分野でのイベント等に多くの皆様に参加できる機会をつくり、大会への機運醸成と共生社会への理解促進に取り組み、大会後のレガシーを構築します。

1 令和2年度の取り組み予定

(1) 機運醸成事業 予算額 2,000 千円

ホストタウン相手国のオランダと、スポーツだけでなく、教育・文化等の分野においても交流を進めます。パラスポーツ体験イベントやオランダ在住経験者の講演会等を実施します。

(2) オランダオリンピック委員会・スポーツ連合との連携事業 予算額 2,000 千円

今年で4年目となる「Game Changer プロジェクト
～パラスポーツで社会を変える～」を実施します。オランダ人選手との交流を通じて、パラスポーツの価値や可能性を体感する事業やスポーツ教室を開催するとともに、パラスポーツを支える人材育成にも取り組みます。

5月下旬、10～11月にパラアスリートが来日予定。



パラアスリートの講演

(3) 聖火リレー運営 予算額 14,424 千円

沿道対策や運営、オリンピック聖火リレーのミニセレブレーションを行います。

- ① オリンピック聖火リレーは7月15日(水)14:40に東伏見交差点(青梅街道上)を出発し、15:24に西東京市立けやき小学校までつなぎます。
- ② パラリンピック聖火リレーは8月24日(月)に西東京市を出発します。

(4) コミュニティライブサイト等運営 予算額 9,105 千円

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会でのコミュニティライブサイト(スポーツ体験とパブリックビューイング)を行い、会場が一体となり選手を応援することで大会を盛り上げます。会場はきらっと等の市内施設を予定。



パブリックビューイングのイメージ

2 共生社会ホストタウン

パラリンピアンを受け入れなどを契機に、共生社会の実現に向けた取組を加速して行くために、「共生社会ホストタウン」への登録を目指します。(令和 2 年 1 月申請済み)

本事業は、「ホストタウン」の中でも、特にパラリンピアンとの交流をきっかけに共生社会の実現に焦点を当てた取組を推進し、市民の意識を変え、「心のバリアフリー」等につなげてまいります。

【問い合わせ先】 生活文化スポーツ部 スポーツ振興課 (TEL : 042-420-2818)

資料のポイント

【東京 2020 大会に向けたこれまでの取り組み】

- 平成 29 年度から「Game Changer プロジェクト ～パラスポーツで社会を変える～」でオランダとの交流を通じて共生社会への取り組みを進め、平成 30 年 12 月 28 日にオランダのホストタウンに登録。
- 令和元年 11 月 22 日にパラリンピック聖火リレー地に選定される。
- 令和 2 年 1 月に共生社会ホストタウンの登録を申請 (26 市中、武蔵野市、国分寺市が登録済み)